



全国投資セミナー2021年度



今からでも遅くない 米国株式投資と 米国株式市場 2021年後半の見通し

マネックス証券
チーフ外国株コンサルタント
岡元兵八郎

国内市場有価証券取引に関する重要事項

<リスク>

国内株式および国内ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「国内株式等」）の売買では、株価等の価格の変動や発行者等の信用状況の悪化等により元本損失が生じることがあります。また、国内ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じることがあります。信用取引では、元本（保証金）に比べ、取引額が最大3.3倍程度となる可能性があるため、価格、上記各指数等の変動、または発行者の信用状況の悪化等により元本を上回る損失（元本超過損）が生じることがあります。

<保証金の額または計算方法>

信用取引では、売買金額の30%以上かつ30万円以上の保証金が必要です。

<手数料等>

国内株式等のインターネット売買手数料は、「取引毎手数料」の場合、約定金額100万円以下のときは、成行で最大1,000円（税込:1,100円）、指値で最大1,500円（税込:1,650円）が、約定金額100万円超のときは、成行で約定金額の最大0.1%（税込:0.11%）、指値で約定金額の最大0.15%（税込:0.165%）を乗じた額がかかります。ただし、信用取引では、「取引毎手数料」の場合、約定金額が200万円以下のときは、成行・指値の区分なく最大800円（税込:880円）が、約定金額200万円超のときは、成行・指値の区分なく最大1,000円（税込:1,100円）がかかります。また、「一日定額手数料」の場合、一日の約定金額300万円ごとに最大2,500円（税込:2,750円）がかかります。約定金額は現物取引と信用取引を合算します。（非課税口座では「取引毎手数料」のみ選択可能ですのでご注意ください。）単元未満株のインターネット売買手数料は、約定金額に対し0.5%（税込:0.55%）（最低手数料48円（税込:52円））を乗じた額がかかります。国内ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。国内株式等の新規公開、公募・売出し、立会外分売では、購入対価をお支払いいただきますが、取引手数料はかかりません。IFAコースをご利用のお客様について、IFAを媒介した取引の売買手数料は、1注文の約定金額により異なり、2億円超の約定金額のとき最大手数料345,000円（税込:379,500円）がかかります。詳しくは当社ウェブサイトに掲載の「IFAコースの手数料」（<https://info.monex.co.jp/ifa/fee.html>）をご確認ください。

<その他>

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「契約締結前交付書面」「市場有価証券等書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。

投資信託取引に関する重要事項

<リスク>

投資信託は、主に値動きのある有価証券、商品、不動産等を投資対象としています。投資信託の基準価額は、組み入れた有価証券、商品、不動産等の値動き等（組入商品が外貨建てである場合には為替相場の変動を含む）の影響により上下するため、これにより元本損失が生じることがあります。投資信託は、投資元本および分配金の保証された商品ではありません。

<手数料・費用等>

投資信託ご購入の際の申込手数料はかかりませんが（IFAを媒介した取引で購入される場合を除く）、購入時または換金時に直接ご負担いただく費用として、約定日の基準価額に最大計1.2%を乗じた額の信託財産留保額がかかります。また、投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、純資産総額に対して最大年率2.38%（税込:2.618%）を乗じた額の信託報酬のほか、その他の費用がかかります。また、運用成績に応じた成功報酬等がかかる場合があります。その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。手数料（費用）の合計額については、申込金額、保有期間等の各条件により異なりますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。なお、IFAコースをご利用のお客様について、IFAを媒介した取引から投資信託を購入される際は、申込金額に対して最大3.5%（税込:3.85%）の申込手数料がかかります。詳しくは当社ウェブサイトに掲載の「IFAコースの手数料」（<https://info.monex.co.jp/ifa/fee.html>）をご確認ください。

（<https://info.monex.co.jp/ifa/fee.html>）をご確認ください。

<その他>

投資信託の購入価額によっては、収益分配金の一部ないしすべてが、実質的に元本の一部払い戻しに相当する場合があります。また、通貨選択型投資信託については、投資対象資産の価格変動リスクに加えて複雑な為替変動リスクを伴います。投資信託の収益分配金と、通貨選択型投資信託の収益／損失に関しては、以下をご確認ください。

投資信託の収益分配金に関するご説明（<https://info.monex.co.jp/help/fund/monthly-distribution.html>）

通貨選択型投資信託の収益／損失に関するご説明（<https://info.monex.co.jp/help/fund/profit.html>）

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「目論見書補完書面」「投資信託説明書（交付目論見書）」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。

マネックス証券株式会社および説明者は、セミナーおよび関連資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。

提供する情報等は作成時または提供時現在のものであり、今後予告なしに変更・削除されることがございます。当社および説明者はセミナーおよび関連資料等の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。なお、セミナーおよび関連資料等は当社および情報提供元の事前の書面による了解なしに複製・配布することはできません。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

米国上場有価証券等のお取引に関する重要事項

<リスク>

米国株式および米国ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「米国株式等」）の売買では、株価等の価格の変動、外国為替相場の変動等、または発行者等の信用状況の悪化等により、元本損失が生じることがあります。米国ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じることがあります。国外株式等の場合には、その国の政治的・経済的・社会的な環境の変化のために、元本損失が生じることがあります。なお、外国為替相場の変動により、外貨お預り金の円換算価値が下がり、円ベースでの元本損失が生じることがあります。

<手数料等>

米国株式等の売買では、約定金額に対し0.45%（税込:0.495%）（ただし、手数料上限20米ドル（税込:22米ドル））の国内取引手数料がかかります。IFAコースをご利用のお客様について、IFAを媒介した取引の取引手数料は、1注文の約定金額により異なり、最大14,000米ドル（税込:15,400米ドル）がかかります。また、上記取引手数料のほか売却時のみ現地取引費用がかかります。現地取引費用は、市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額等および手数料等の合計額等をあらかじめ表示することはできません。また、米国ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。なお、円貨お預り金と外貨お預り金の交換時に所定の為替手数料がかかります。

<その他>

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「上場有価証券等書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。また、米国株式等は、国内金融商品取引所に上場されている場合や国内で公募・売出しが行われた場合等を除き、日本の法令に基づく企業内容等の開示が行われておりませんので、取引を行うにあたっては十分にご留意ください。

マネックス証券株式会社

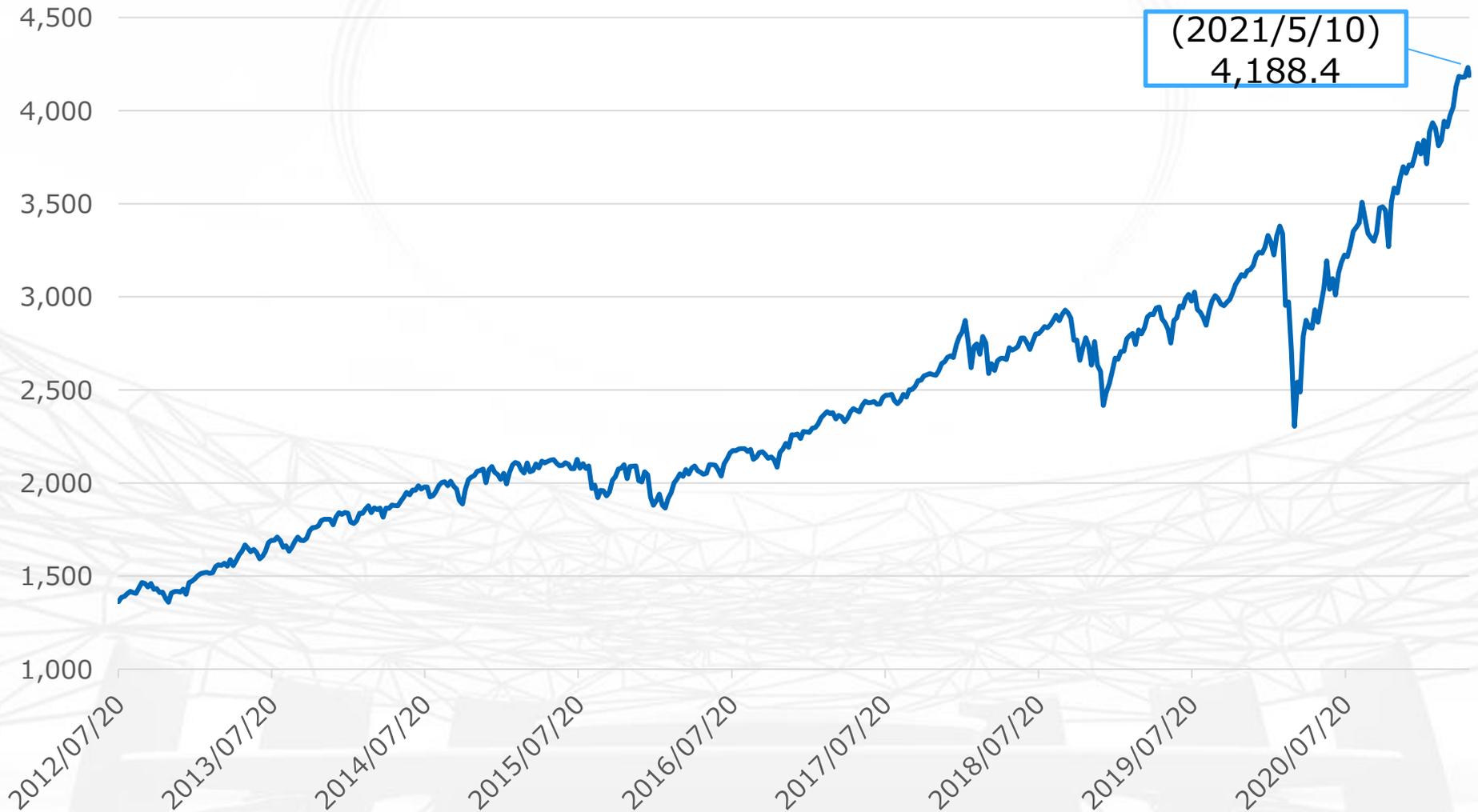
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

米国企業を代表するS&P500は 史上最高値を更新し続けている

(単位 : pt)

(期間 : 2012年7月20日～2021年5月10日)



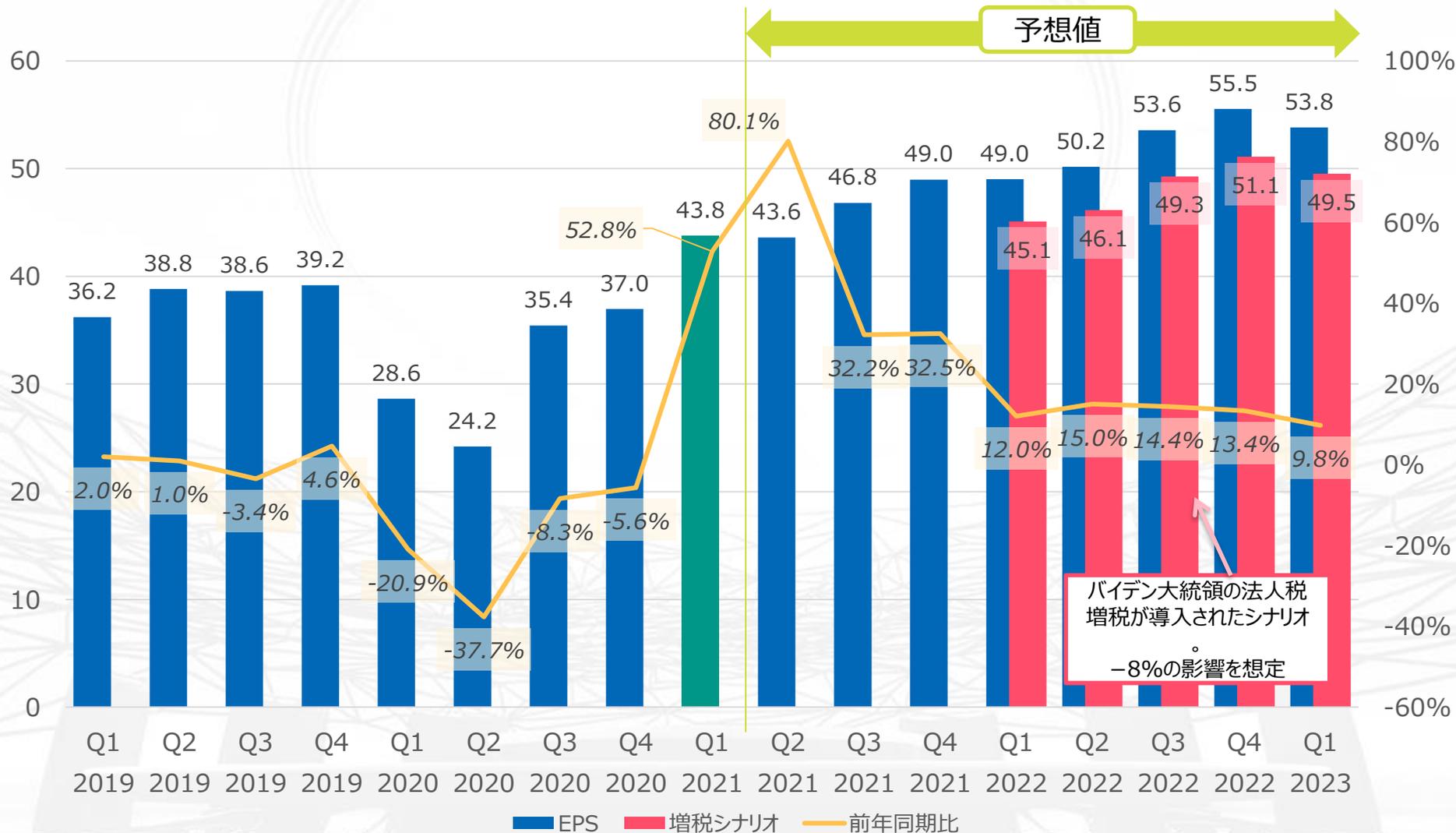
S&P500 EPS 四半期推移と予測値

(期間：2019年Q1～2023年Q1)

(単位：USD)

(左軸：EPS、右軸：前年同期比)

(単位：%)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成。2021年5月9日現在)

2021年の米国株投資のポイント

- ✓ 米国経済回復の恩恵を受けるバリュー銘柄がグロース銘柄をアウトパフォームすると思われる。だが、グロースが上がらないという意味ではない。
- ✓ GAFAMは長期的に成長すると思われ、株価が下げるようであれば、長期的な視点にたって、投資を積み増す良い機会。
- ✓ 来年も新規上場は引き続き活発になる予想。だが、IPO銘柄の投資のタイミングには注意。

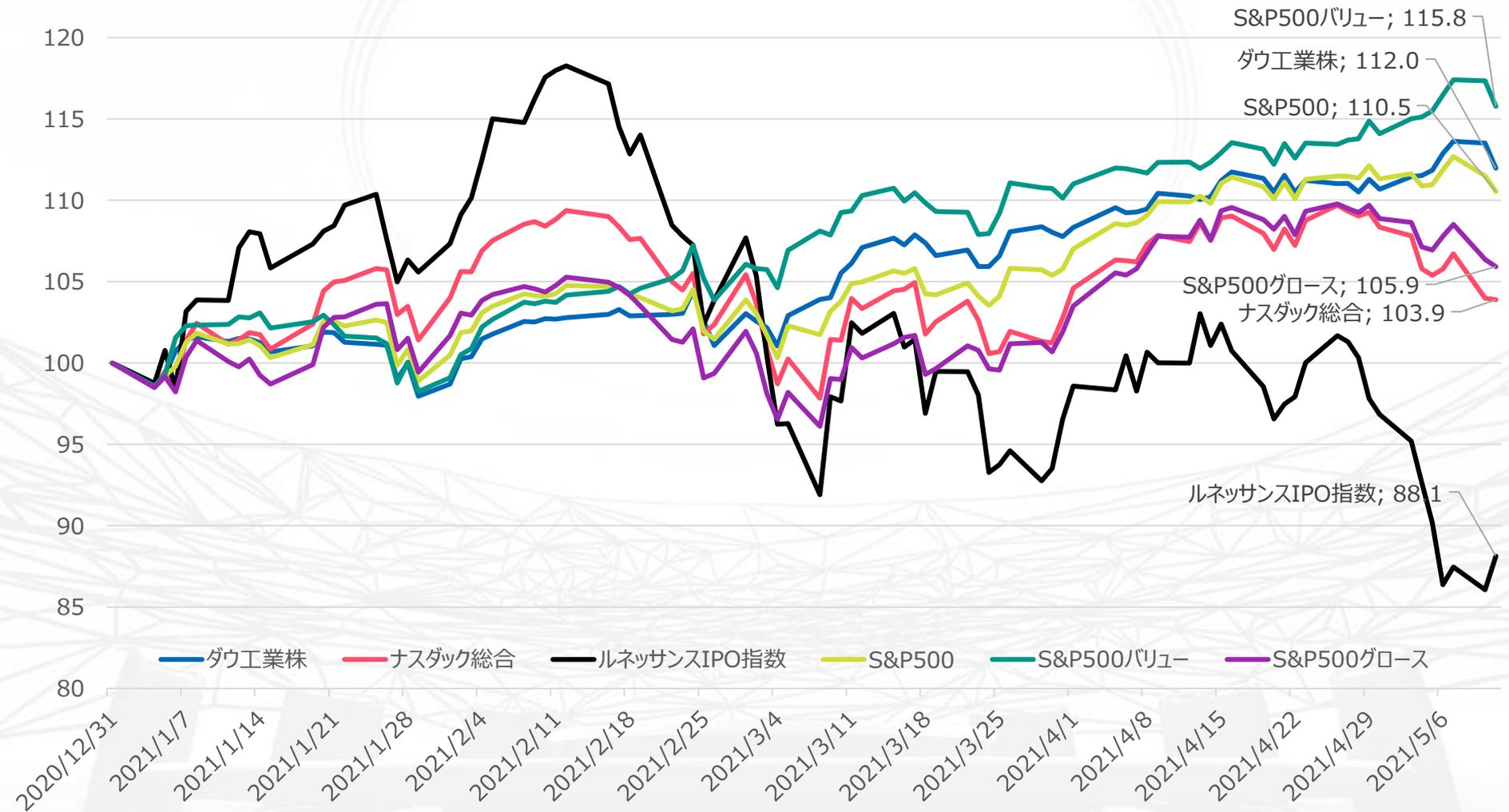


#米国株 #ハッチ #マネックス証券

2021年米国株投資のポイントとは？ハッチ（岡元兵八郎）の米国株マーケットセミナー（2020.12.23）

米国主要株価指数の推移

(期間：2020年12月31日～2021年5月11日、2020年12月31日を100として指数化)



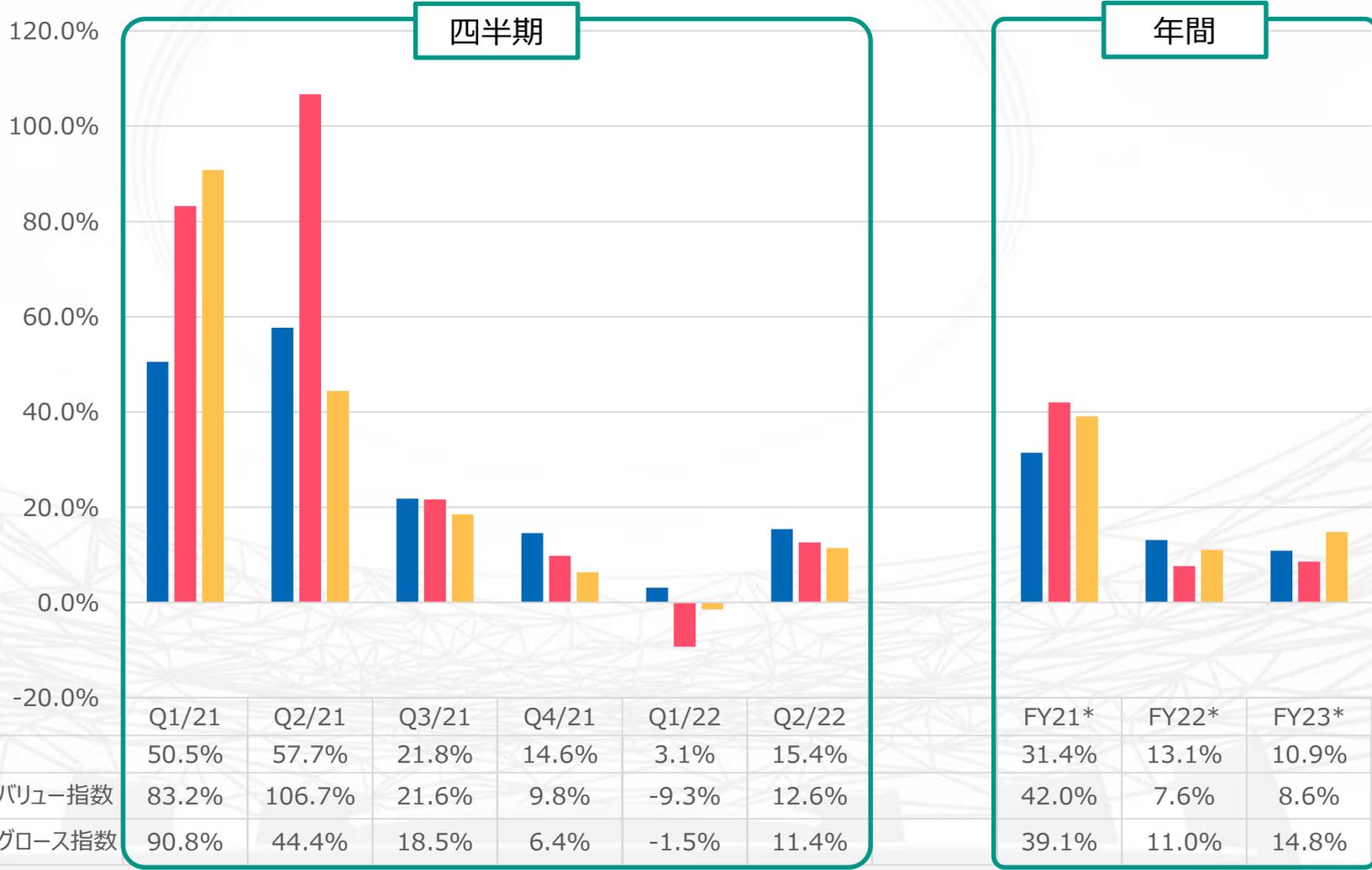
S&P500ピュア・グロス/S&P500ピュア・バリュー

(期間：2015年7月29日～2021年5月11日、2015年7月29日を100として指数化)



S&P500ピュア・グロース指数とピュア・バリュー指数EPS予想

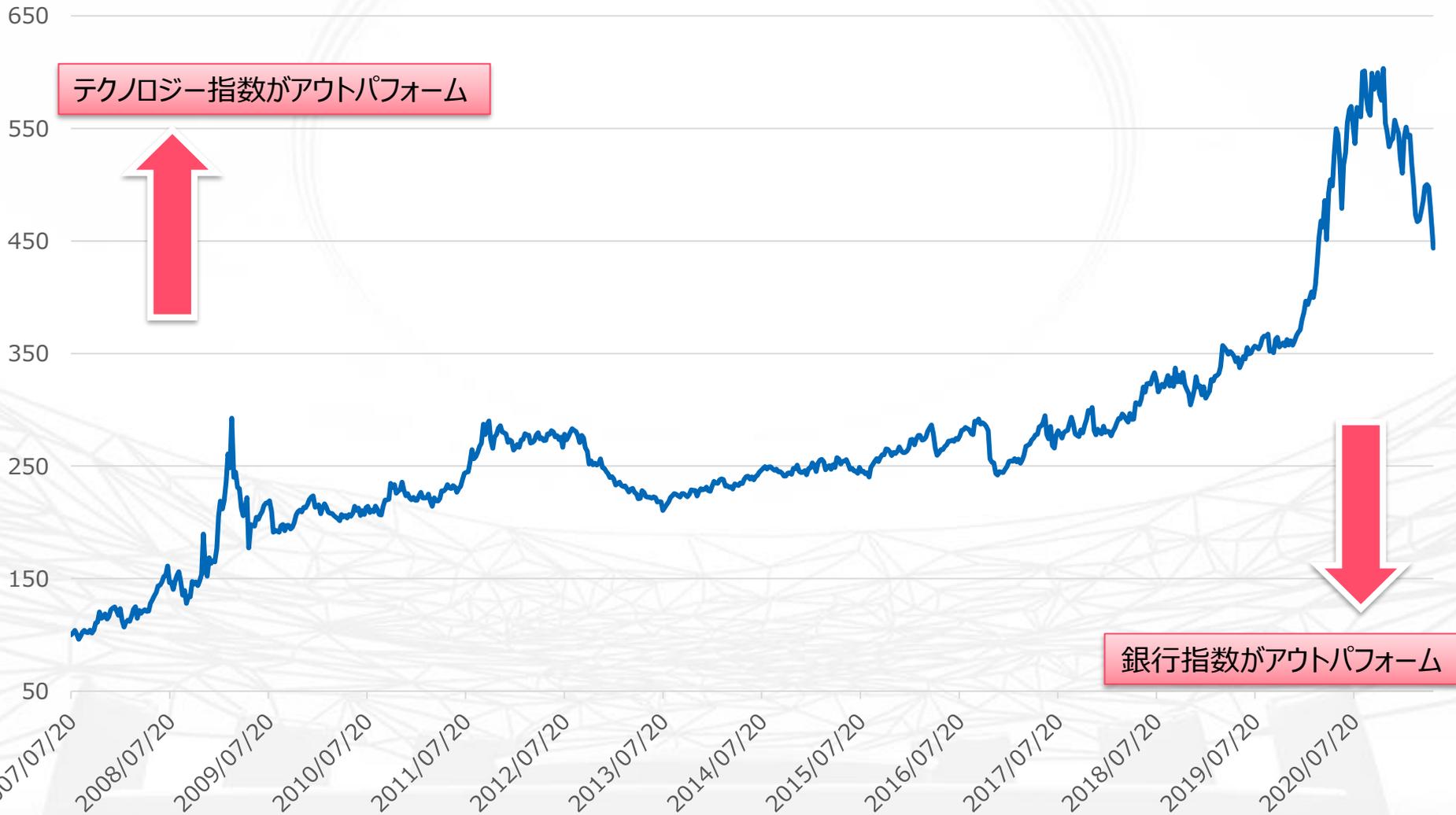
(期間：2021Q1～2022Q2およびFY2021～2023)



■ S&P 500 ■ S&P 500 ピュアバリュー指数 ■ S&P 500 ピュアグロース指数

S&P500 テクノロジー指数 / 銀行指数

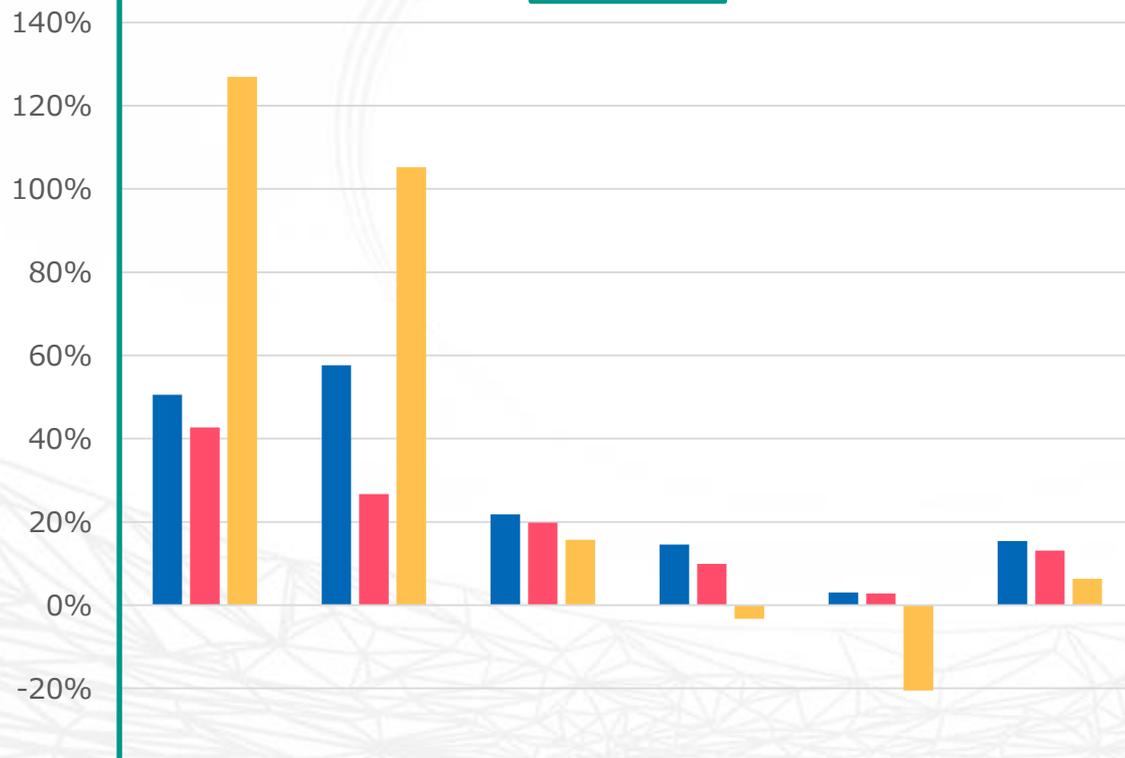
(期間：2007年7月20日～2021年5月10日、2007年7月20日を100として指数化)



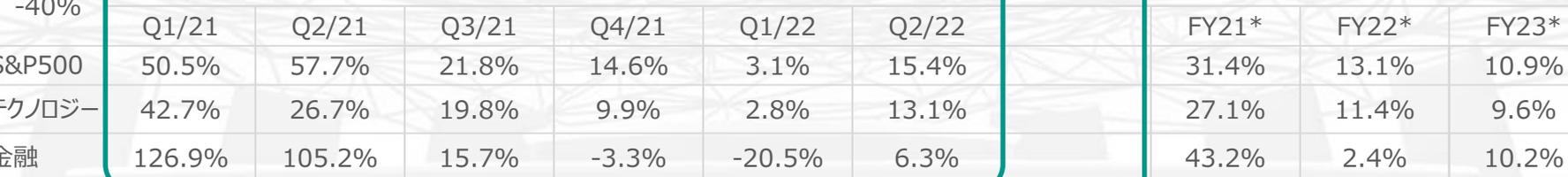
S&P500 テクノロジー vs 金融セクター EPS予想

(期間：2021Q1～2022Q2およびFY2021～2023)

四半期



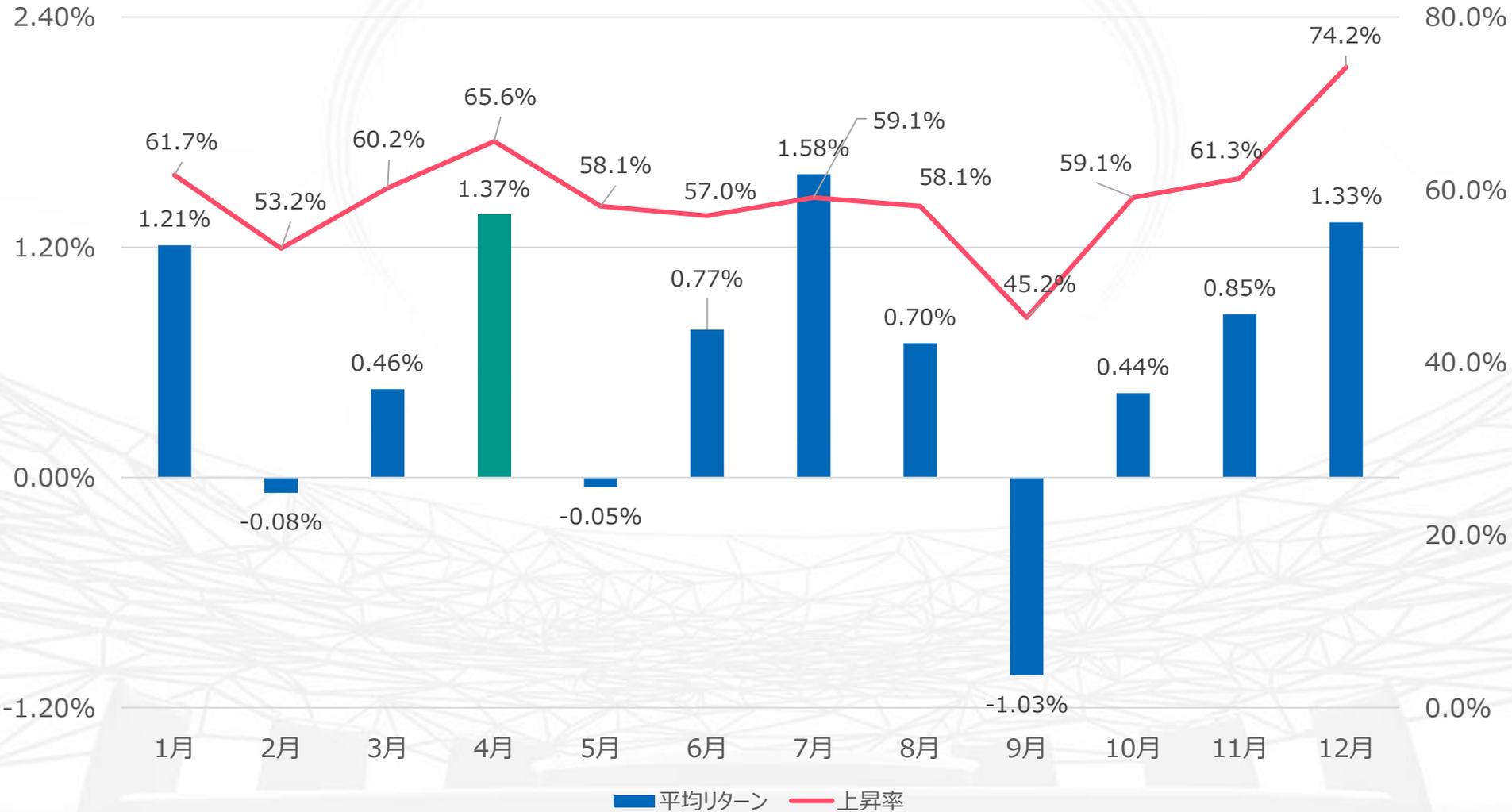
年間



■ S&P500 ■ テクノロジー ■ 金融

S&P500 月別のパフォーマンス

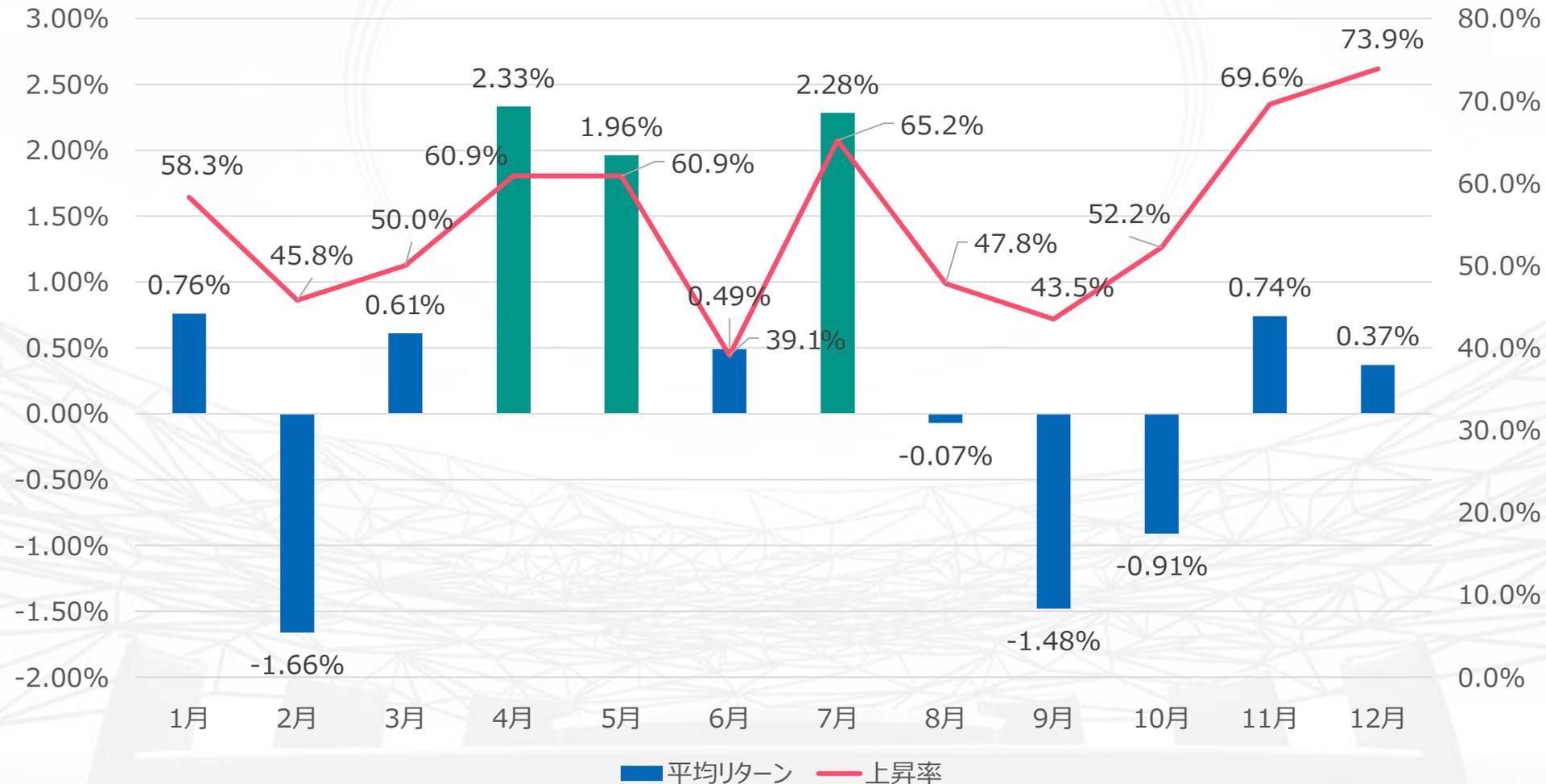
(1928年～2020年、左軸：平均リターン、右軸：上昇率)

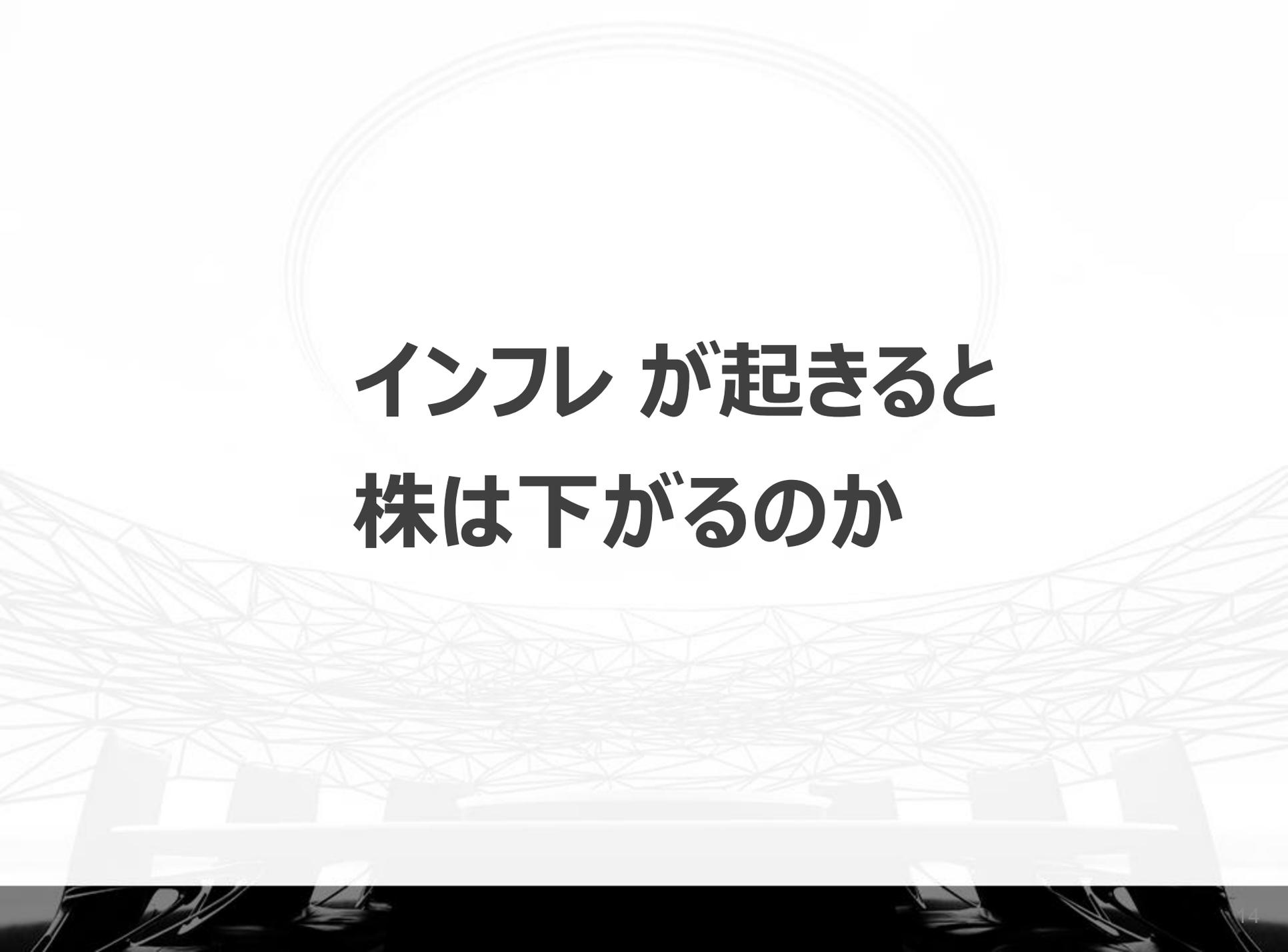


S&P500 月別のパフォーマンス

1928年からの大統領就任期間1年目の平均リターン

(左軸：平均リターン、右軸：上昇率)





インフレ が起きると 株は下がるのか

インフレ時のS&P500変化率

CPI（消費者物価指数）が前年比で上昇している期間においてS&P500は平均25.4%上昇

CPI 上昇開始日	CPI 上昇終了日	期間（年）	CPI最小値	CPI最大値	CPI変化率(%)	CPI変化率 (%, 年率)	S&P500変化率
1921/6/30	1925/11/30	4.42	-15.8	4.7	20.5	4.64	90.61%
1932/10/31	1934/3/31	1.41	-10.7	5.6	16.3	11.53	54.71%
1938/10/31	1942/5/31	3.58	-4.1	13.2	17.3	4.83	-38.08%
1944/5/31	1947/3/31	2.83	0	19.7	19.7	6.95	22.89%
1949/7/31	1951/2/28	1.58	-2.9	9.4	12.3	7.78	44.85%
1954/12/31	1957/3/31	2.25	-0.7	3.7	4.4	1.96	22.60%
1959/4/30	1969/12/31	10.68	0.3	6.2	5.9	0.55	59.85%
1972/6/30	1974/12/31	2.5	2.7	12.3	9.6	3.83	-36.01%
1976/12/31	1980/3/31	3.25	4.9	14.8	9.9	3.05	-5.00%
1986/12/31	1990/10/31	3.84	1.1	6.3	5.2	1.36	25.53%
1998/3/31	2000/3/31	2	1.4	3.8	2.4	1.20	36.02%
2002/6/30	2008/7/31	6.09	1.1	5.6	4.5	0.74	28.04%
2009/7/31	2011/9/30	2.17	-2.1	3.9	6	2.77	14.58%
2015/4/30	2018/7/31	3.25	-0.2	2.9	3.1	0.95	35.04%
2020/5/31	2021/2/28	0.75	0.1	1.7	1.6	2.14	25.19%
平均		3.4	-1.7	7.6	9.2	3.6	25.39%
中間値		2.8	0.0	5.6	6.0	2.8	25.53%
最小値		0.7	-15.8	1.7	1.6	0.6	-38.08%
最大値		10.7	4.9	19.7	20.5	11.5	90.61%
上昇割合							80.00%



なぜ今から米国株投資なのか

もう遅いのではないか？

日米株価 年間リターン比較 円ベース

(1990年-2020年)



TOPIX

プラスの年の確率 = 58.1%

平均リターン = 2.6%



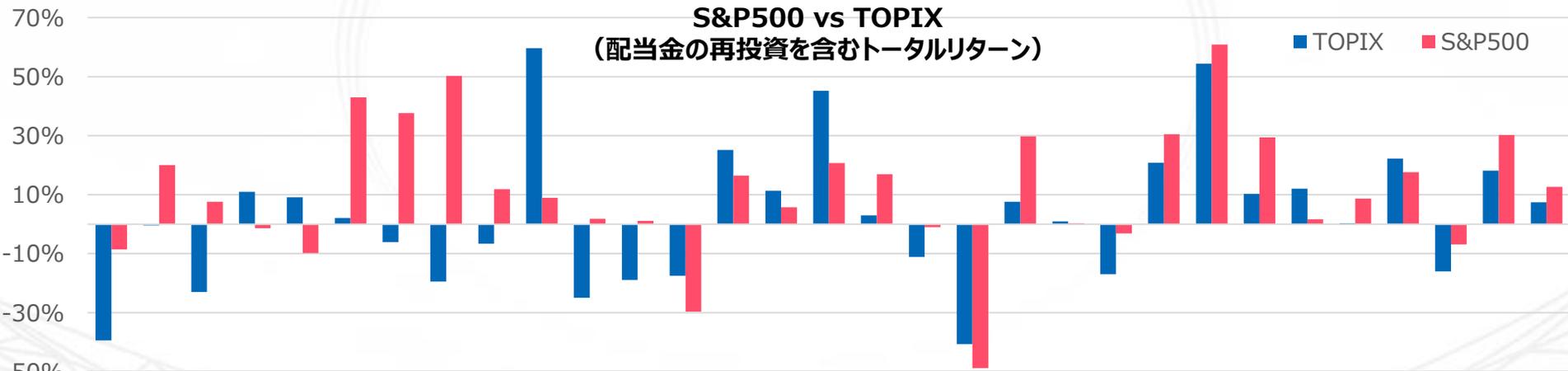
S&P500

プラスの年の確率 = 74.2%

平均リターン = 11.4%

S&P500 vs TOPIX
(配当金の再投資を含むトータルリターン)

■ TOPIX ■ S&P500



	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
■ TOPIX	-39%	0%	-23%	11%	9%	2%	-6%	-19%	-7%	60%	-25%	-19%	-17%	25%	11%	45%	3%	-11%	-41%	8%	1%	-17%	21%	54%	10%	12%	0%	22%	-16%	18%	7%
■ S&P500	-9%	20%	8%	-1%	-10%	43%	38%	50%	12%	9%	2%	1%	-30%	16%	6%	21%	17%	-1%	-49%	30%	0%	-3%	31%	61%	29%	2%	9%	18%	-7%	30%	13%

S&P500 - TOPIX リターンの差
(配当金の再投資を含むトータルリターン)

S&P500がTOPIXを上回った確率 = 64.5%
リターン率の年間平均 = 8.9%

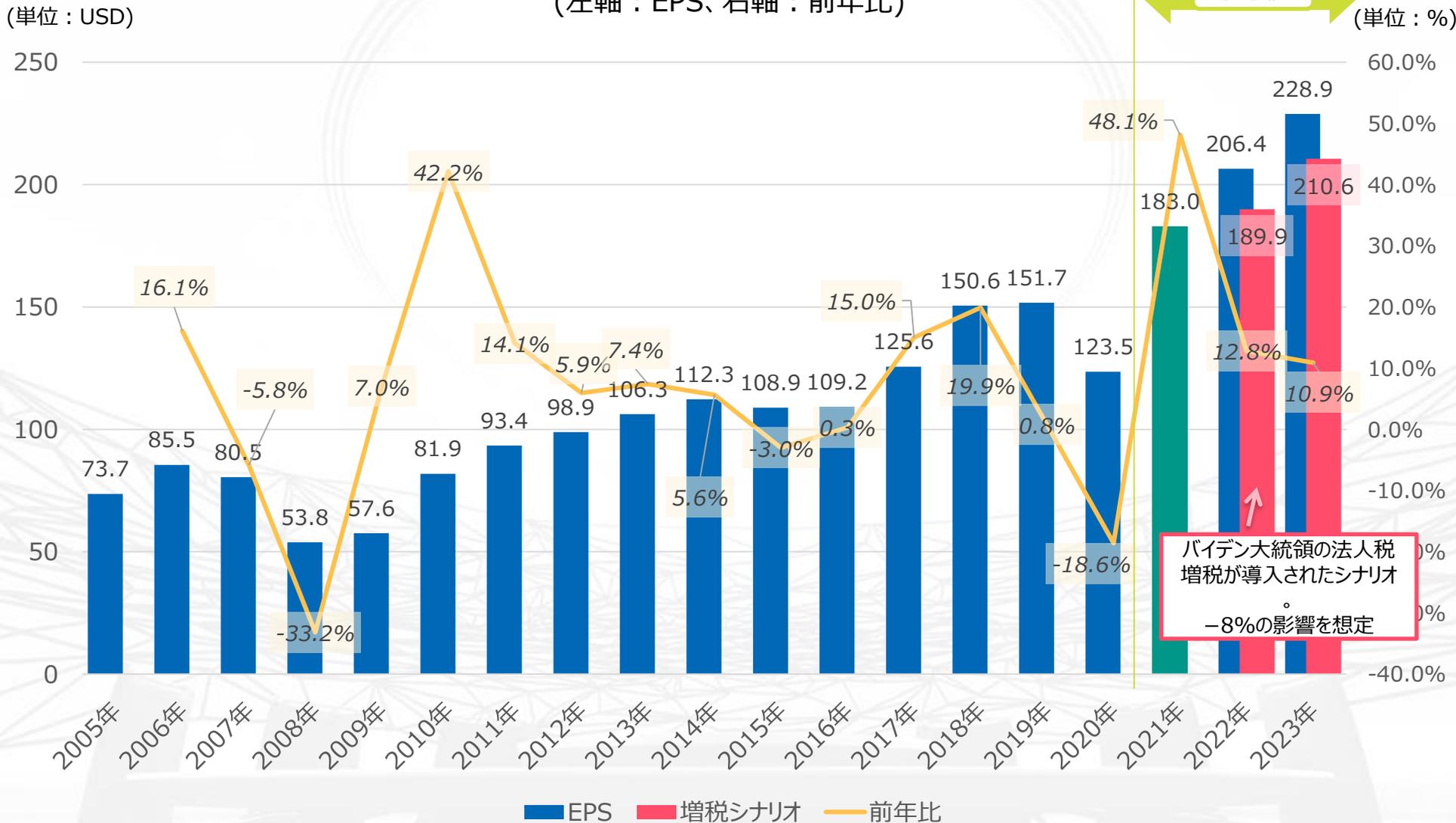


	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
■ 差	31%	20%	31%	-12%	-19%	41%	44%	70%	18%	-51%	27%	20%	-12%	-9%	-6%	-24%	14%	10%	-8%	22%	-1%	14%	10%	6%	19%	-10%	8%	-5%	9%	12%	5%

S&P500 EPS 推移と予測値

(期間：2005年～2023年)

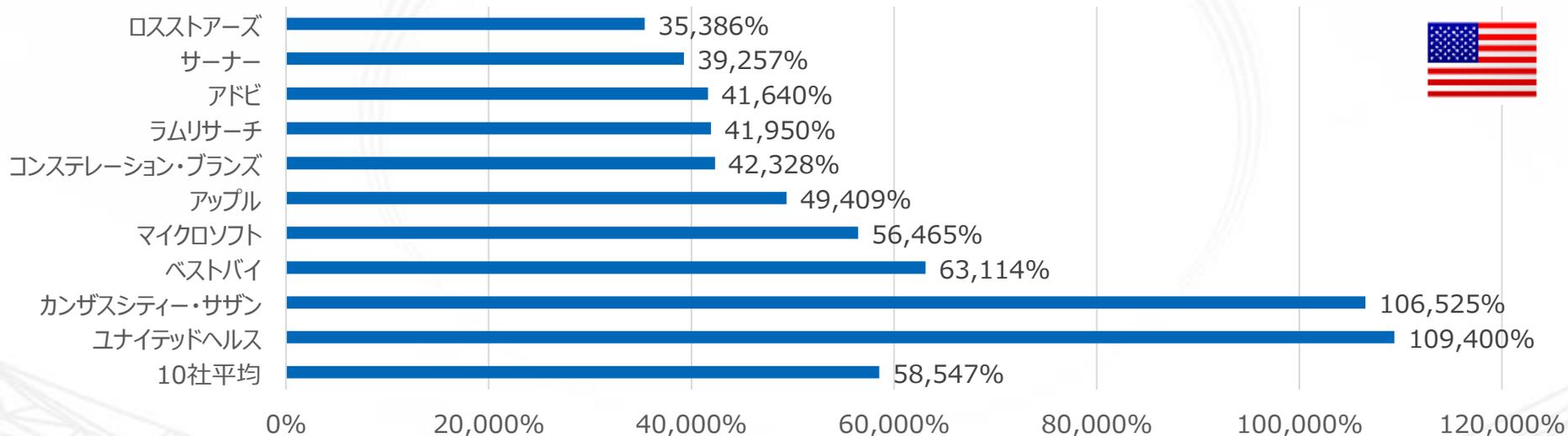
(左軸：EPS、右軸：前年比)



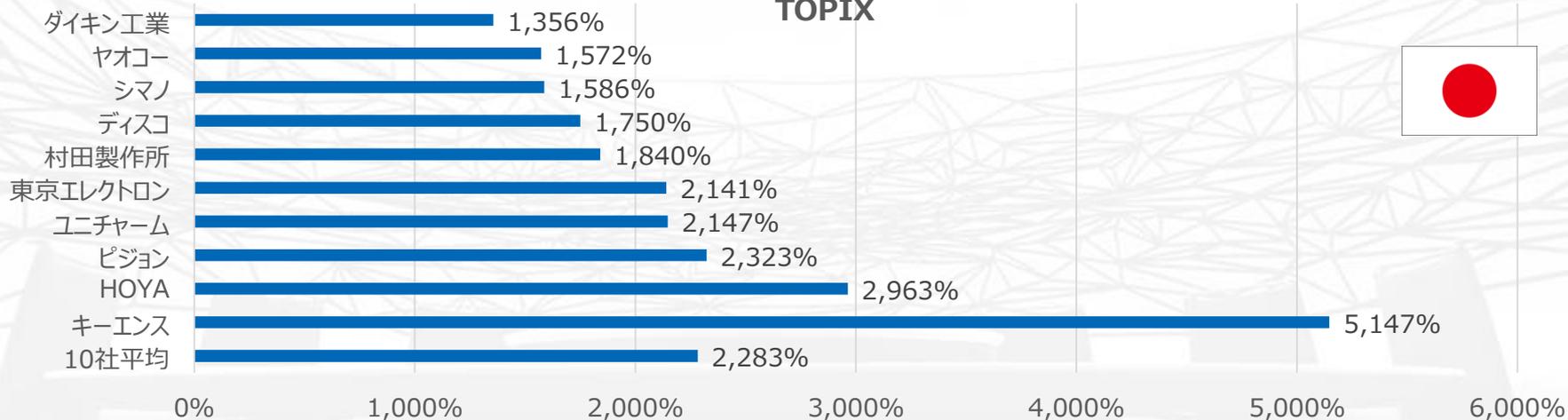
日米ベストパフォーマンス トップ10銘柄

(期間：1990年1月～2020年12月末)

S&P500



TOPIX





コカ・コーラ株 (KO) 今と昔

1989年末

2021年5月7日

変化率

株価 :

\$4.8281

\$54.51

約11.3x

1株当たりの

配当金 :

\$0.085

\$1.68

約20x

配当利回り :

1.76%

3.08%



コカ・コーラ株 (KO)

1989年末に100万円投資をしたとすれば

約31年後の今 (2021年5月7日)

コカ・コーラ

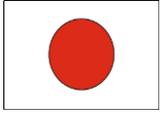
株価は。。。

約1130万円に

年間配当金額は。。。

約35万円

2020年日米直接投資比較（予想）



1.12兆円



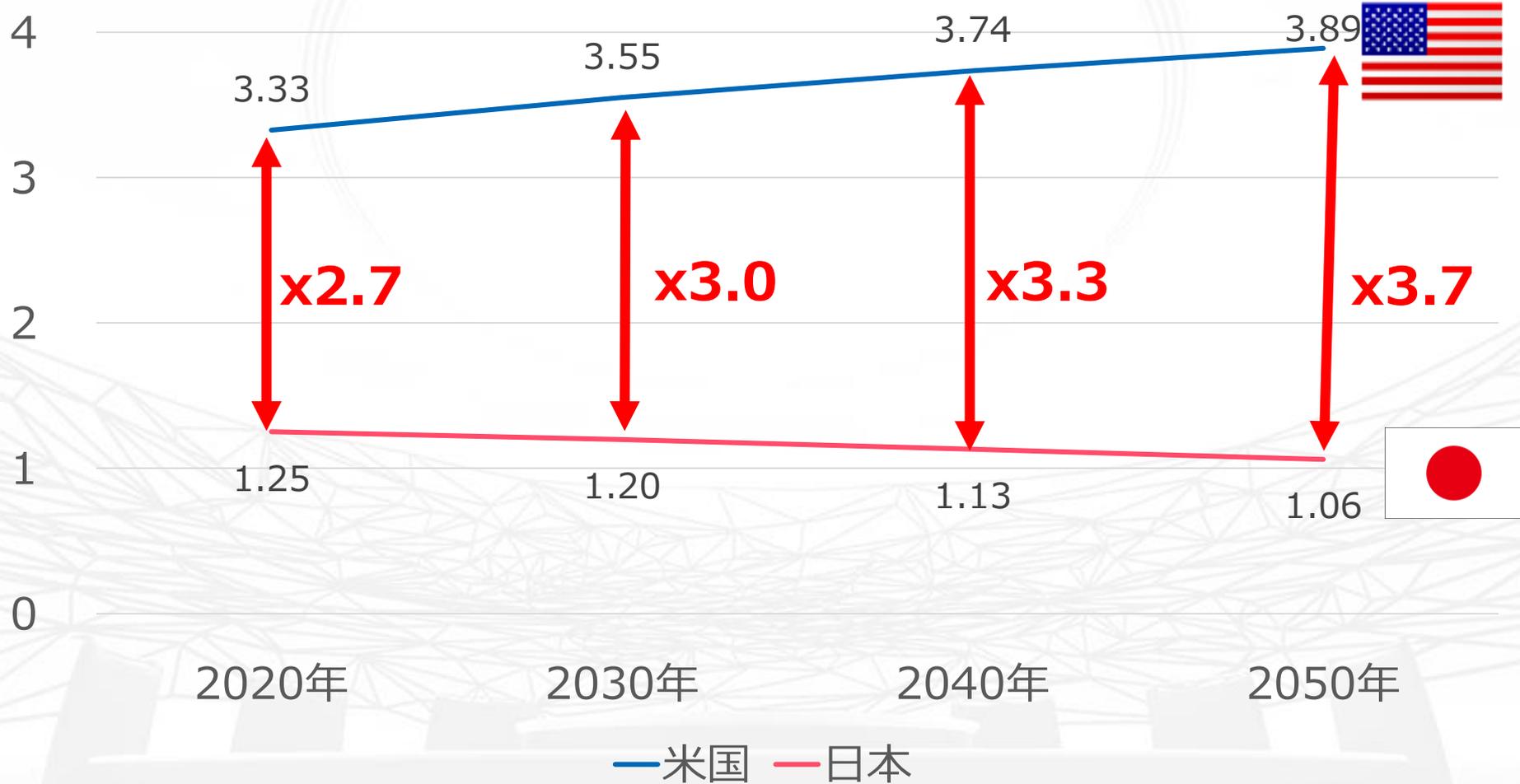
19.3兆円

その差は約17倍



日米比較 人口予想

(単位：億人)



日米比較 人口の年齢中央値

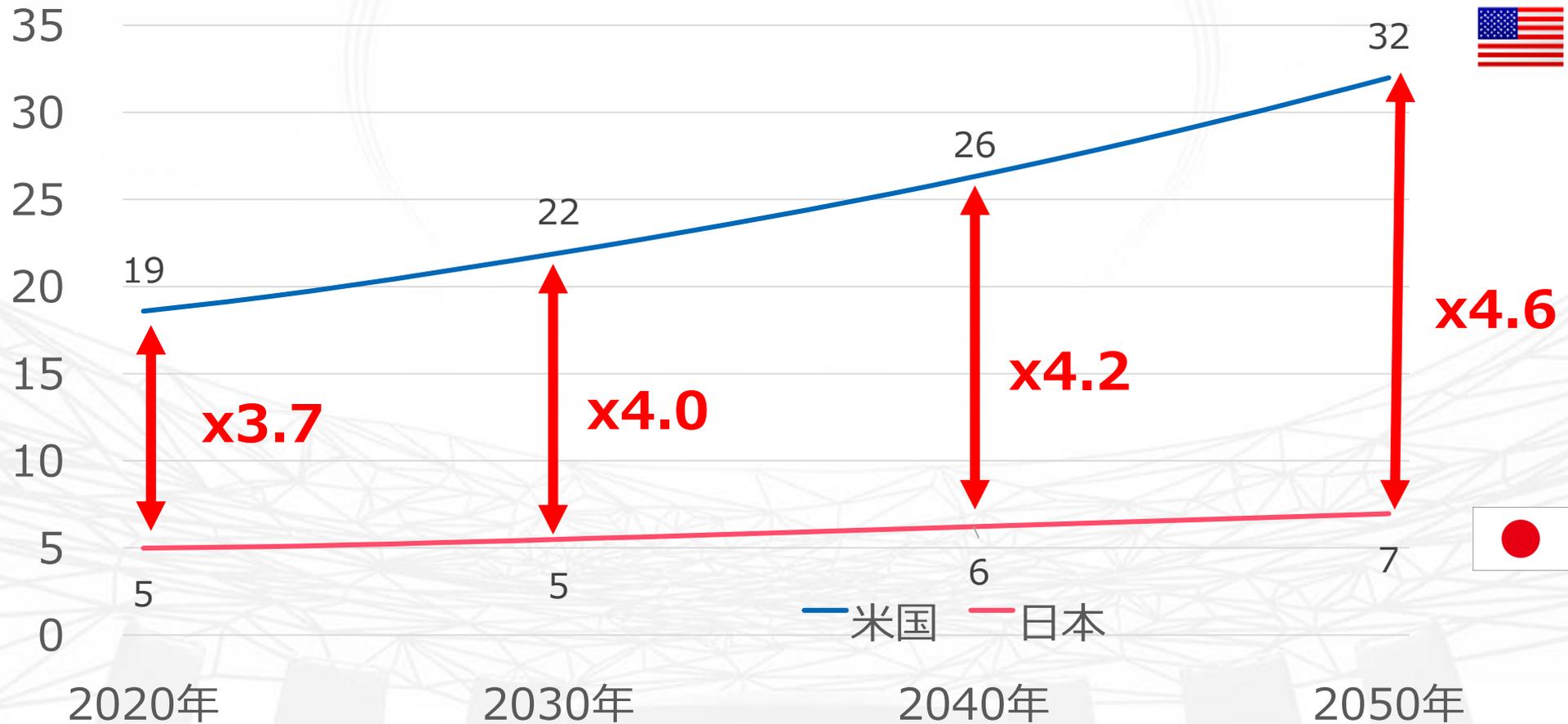
(単位：歳)

	2020年	2030年	2050年	2020年～ 2050年
米国 	38.3	39.9	42.7	+4.4
日本 	48.4	52.1	54.7	+6.3
米国－日本 年齢差	-10.1	-12.2	-12.0	

人口減の日本、人口増の米国
経済の規模も今後ますます差がついていくという見通しである

日米比較 実質GDP予想

(単位：兆米ドル)



日米企業 研究開発費(R&D)比較

年間研究開発費トップ10



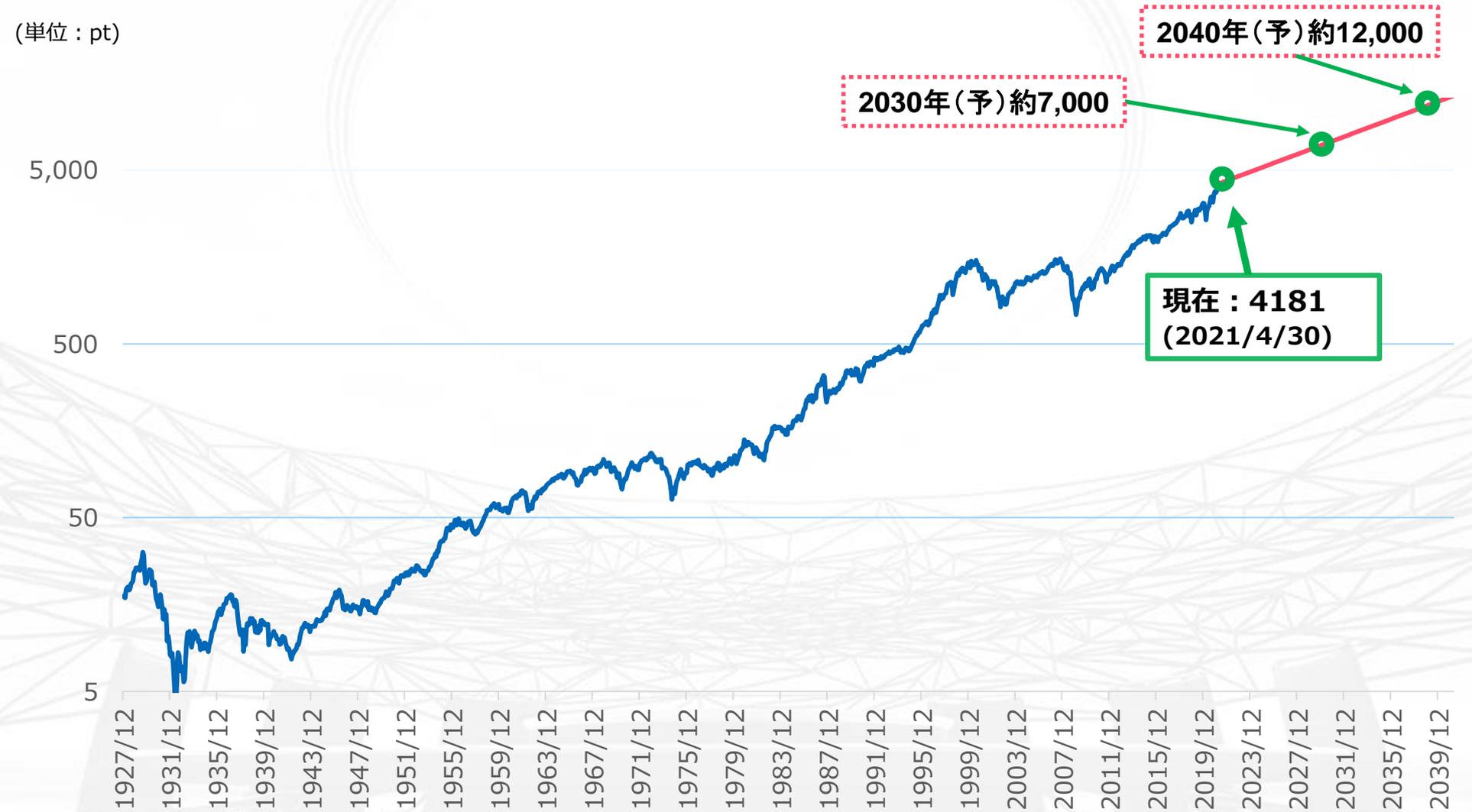
	会社名	研究開発費 (兆円)	売上高 研究開発費 比率	時価総額 (兆円)	株価 (円)
1	アマゾン	5.0	11.5%	181.8	358,786
2	アルファベット -CL C	3.1	13.5%	172.4	261,457
3	アルファベット -CL A	3.1	13.5%	172.4	256,360
4	マイクロソフト	2.2	12.5%	205.0	27,518
5	アップル	2.2	5.9%	236.0	14,193
6	フェイスブック-CL A	2.1	19.9%	98.9	34,780
7	インテル	1.5	18.4%	25.2	6,286
8	メルクアンドカンパニー	1.5	20.4%	21.5	8,547
9	ジョンソン&ジョンソン	1.4	14.2%	48.1	18,367
10	ファイザー	1.1	13.8%	23.8	4,314
合計 (研究開発費/売上は平均)		23.2	14.4%	1,185.1	

	会社名	研究開発費 (兆円)	売上高 研究開発費 比率	時価総額 (兆円)	株価 (円)
1	トヨタ自動車	1.1	3.3%	27.3	8,364
2	ホンダ	0.7	4.6%	6.1	3,360
3	ソニー	0.5	6.6%	13.2	10,470
4	日産自動車	0.5	5.7%	2.4	558
5	デンソー	0.5	8.3%	5.6	7,088
6	武田薬品工業	0.5	14%	5.8	3,675
7	パナソニック	0.4	5.4%	3.1	1,269
8	日立製作所	0.3	3.3%	5.3	5,469
9	キャノン	0.3	8%	3.5	2,603
10	第一三共	0.2	28.5%	5.5	2,816
合計 (研究開発費/売上は平均)		5.0	8.8%	77.7	

S&P500

1927年から今まで

2021年から毎年6%上昇を続けたとすると



初めての米国株投資

まずは、**S&P500、ナスダック100指数連動型の投資信託やETF**に**時間の分散**で**長期投資**を始めてみるのはいかがでしょうか？



米国株ポートフォリオの構築法： コア・サテライトの考え方



長期投資として

株価指数連動型ETFを活用

市場のリターン並みのリターンを得る

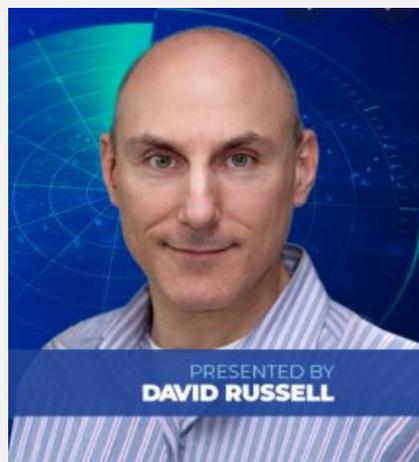
例：S&P500のETFを使い、S&P 500のパフォーマンスに追随させる

ハッチの米国株マーケットセミナー (原則毎月第4木曜日20時より開催)

【見どころ①】 当社講師でチーフ・外国株コンサルタントの岡元兵八郎（ハッチ）が米国株式市場の相場の見方や、米国市場の最新テーマを分かりやすく解説

【見どころ②】 TradeStation社のDavid Russell氏より、現地アメリカからアメリカ人投資家の動向を詳しく解説

【見どころ③】 毎回「特別ゲスト」をお呼びし、ハッチと対談形式で様々な業界の偉人たちの視点から、米国株や米国市場のお話を聞くことが可能





明けましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願いたします。

本日は米国株市場は休場です。
ゆっくりお過ごしください🍷

米国株市場の開場は1月4日です
時間外取引にて今年も
利益を狙うチャンスを広げてください🌟

プレ：22:00-23:30
通常：23:30-翌6:00
アフター：翌6:00-翌10:00



マネックス証券 (米国株) @MonexUS_stock
当社講師の岡元兵八郎 @heihachiro888 が
本日ストックボイスにて収録を終えました👏

2020年の米国株市場を
約10分程度で振り返っております

来年の相場状況や
出版したばかりの新書の内容について
お話ししています〜
ではみなさまよい週末をお過ごしください🌈



2020年の米国株市場を振り返る
@media.monex.co.jp



マネックス証券 (米国株) @MonexUS_stock
2020年最後のハッチの米国株マーケットセミナーは
12/23 (水) 20時からです📺

当社講師のハッチ @heihachiro888 が今年最後という
ことでいつも以上に入念に準備しています!

TradeStationのDavidによる
米国の個人投資家動向についての
日本語字幕付きの解説動画も注目です👀



12月23日 (水) 20時00分から
[2020年ラスト] ハッチ
チーフ・外国株コンサル
やすく解説するオンラ
@info.monex.co.jp

!!!!!!米国株 銘柄追加!!!!!!

本日29銘柄追加し、
ついに取扱銘柄数4,000銘柄を突破🎉🎉

いつも銘柄追加のご要望いただき
本当にありがとうございます!

今後も様々な銘柄を追加できるよう
米株チーム一同がんばってまいります!

お好みの銘柄があるといいですね👍!



29銘柄を追加! ついに取扱銘柄数4,000銘柄を突破!
12月29日 (火) に、米国株の取扱銘柄を新たに29銘柄追加し、取扱銘柄数が
4005銘柄になり、4,000銘柄を突破しました。ぜひ、新規取扱銘柄をご確認ください...



Wishesといえば...
ハッチの米国株投資入門本を
抽選で100名様にプレゼントキャンペーンが
本日最終締め切り日です

クリスマスミラクル🎄で
当選するかもしれません!!

まだ応募していないお客様は応募をぜひ👏
詳細はこちらからご覧ください!



マネックス証券 (米国株) @MonexUS_stock
石原順の米国株トレンド5銘柄

記録的なIPOラッシュとIPOブームの不都合な真実

- ✓ 2020年は記録的なIPOの1年
- ✓ 活況の一方で課題も/SPACブームと赤字企業の上場
- ✓ 「雨後の筍」状態の米IPO市場、成長企業の見極め

石原順氏 @ishiharajun の記事は
基本的に隔週火曜に掲載👏



記録的なIPOラッシュとIPOブームの不都合な真実
2020年は記録的なIPOの1年。活況の一方で課題も：SPACブームと赤字企業の上場。
「雨後の筍」状態の米IPO市場、成長企業の見極めが必要。石原順の注目5...

米国株学習講座のご案内

MU A マネユニ・アカデミー

人生100年時代。いまこそ、投資を味方に。

「マネユニ・アカデミー」

ゼロから学べる「米国株コース」開講



GDP (国内総生産)

- 1年間に国内で新たに生み出された生産物やサービスの付加価値の合計
- 個人消費、設備投資、住宅投資、在庫投資、政府支出、純輸出（輸出－輸入）で構成される
- 速報値は当該四半期終了後の翌月末（例えば、四半期が4-6月期であれば、翌月の7月末）の22時30分（冬時間の場合、21時30分）に発表される

「付加価値」とは

売上高	=	付加価値
		－ 費用

岡元兵八郎、
講師として登壇！



2時間目 米国株は、なぜ強い？

MU A マネユニ・アカデミー

Webサイトはこちら

マネユニアカデミー





マネックス証券株式会社

〒107-6025 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル25階

<https://www.monex.co.jp/>

Copyright © Monex, Inc. All Rights Reserved.